



ふれあい 放水路

2004
(平成16年)
第122号
5月



端午の節句

鯉のぼり

風薫る五月、端午の節句を迎えました。神戸川堤防沿いではまるで川を泳いでいるかのように気持ちよさそうに風にたなびく鯉のぼりの姿が見られます。

端午の節句には、男の子の誕生を祝い、子供の健康祈願と子供に降りかかるうとする災厄や魔物を除ける意味を込めて、鎧兜よろいぶつや武者人形を飾ったり鯉のぼりを立てたりしますが、この慣習は古代中国から伝わり、後に日本の宮中から全国に広まっていったようです。

そもそも鯉のぼりが立てられるようになったのは中国の登竜門とうりゅうもんの故事にある「鯉の滝登り」に由来しています。黄河上流の急な流れを鯉が上るといふことから鯉は出世魚と考えられ、子供の立身出世の象徴として江戸時代から盛んに立てられるようになりました。また、子供が生まれた家では、「この家の子供をお守り下さい」と天の神様に向かって目印に立てたという話もあるそうです。

神戸堰の改築について

新しい神戸堰は、堰全体の構造が概ね決定し今秋より改築工事に着手する予定です。
 今月は、新しい神戸堰の改築の概要について紹介します。
 鋼製転倒ゲートについては本紙第80号でお知らせしています。

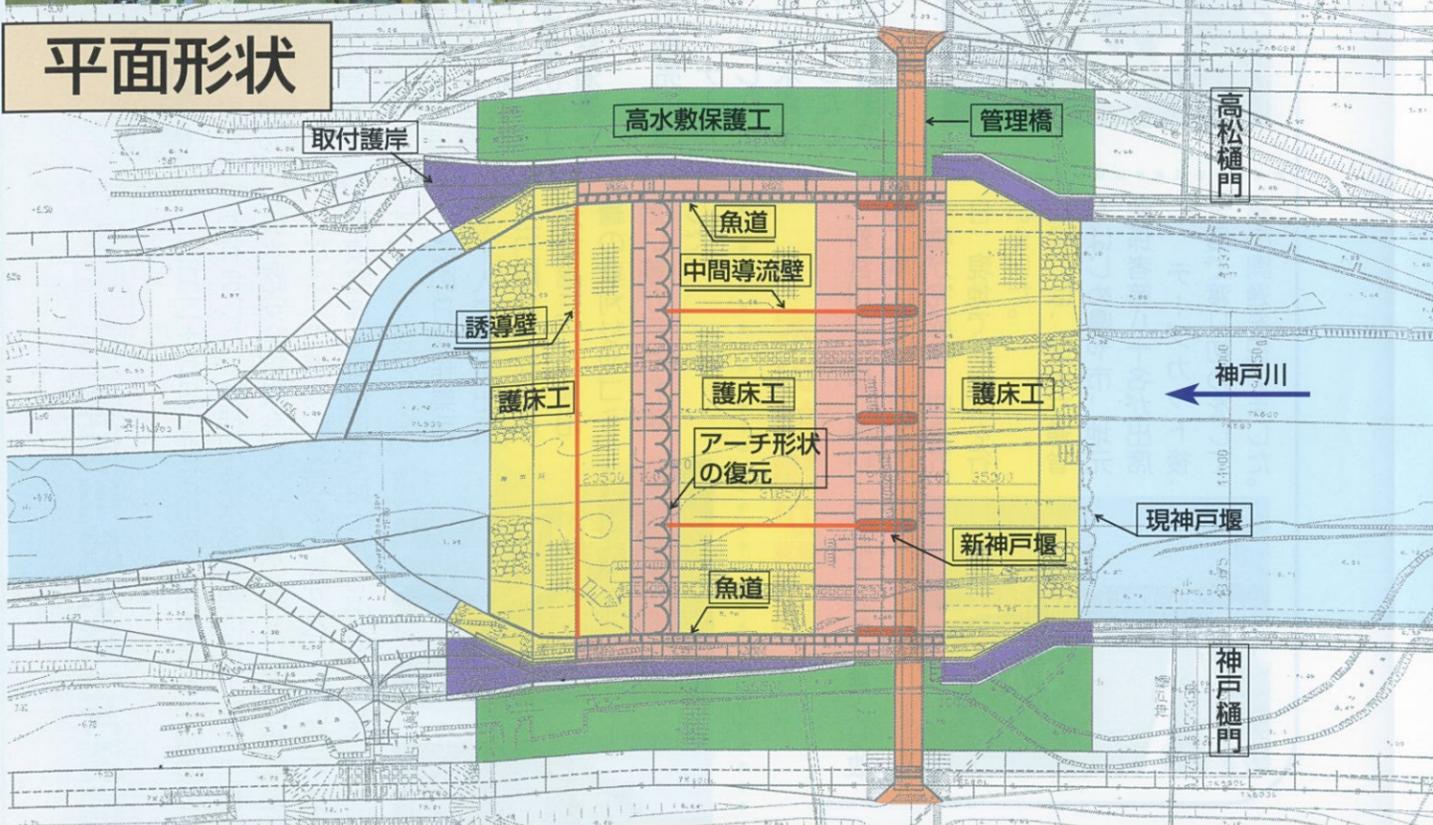
新しい神戸堰のイメージ図



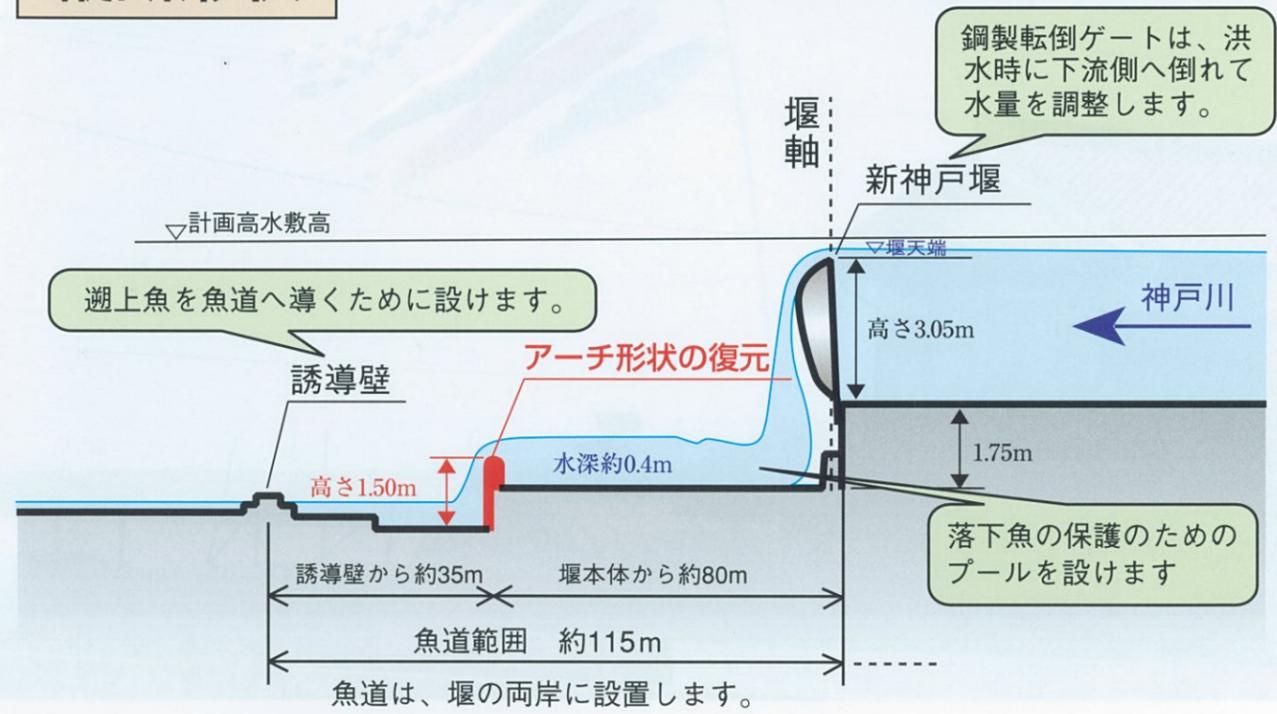
実際の堰はイメージと異なることがあります。



平面形状



縦断形状



鋼製転倒ゲートは、洪水時に下流側へ倒れて水量を調整します。

遡上魚を魚道へ導くために設けます。

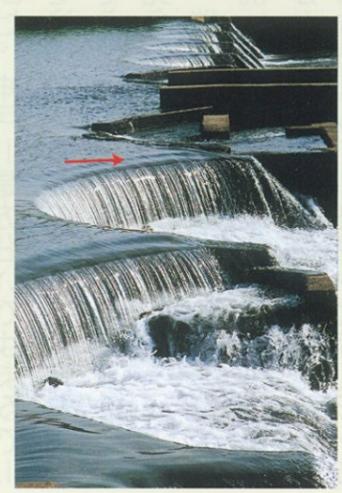
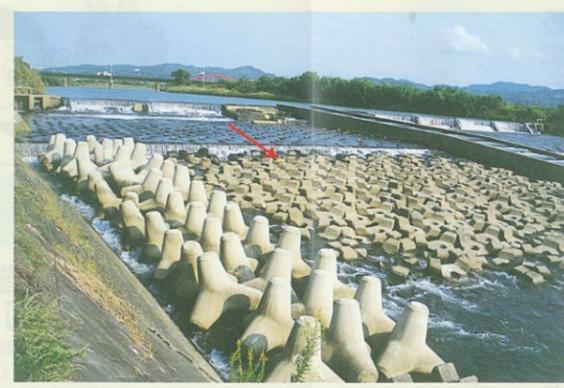
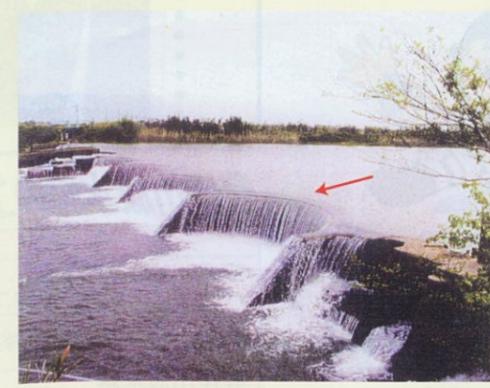
落下魚の保護のためのプールを設けます

魚道は、堰の両岸に設置します。

現在の神戸堰

(現神戸堰諸元)

- 堰 軸：7k545付近
- 形 式：固定堰
- 堰天端高：TP+5.7m
- 堰 高：約1.80m
- 堰 幅：約90.00m



昭和2年に竣工した現神戸堰は、直径9mの8つアーチ弧を持つ固定堰です。
 新しい神戸堰では、下流側の落差を利用してアーチ形状を復元します。

(新神戸堰諸元)

- 堰 軸：7k470付近
- 形 式：可動堰（鋼製転倒ゲート）
- 堰 天 端 高：TP+5.70m
- 堰 敷 高：上流側TP+2.65m
下流側TP+0.90m
- 堰 高：3.05m
- ゲート純径間長：4径間 39.00m
- 堰 柱 基 礎 工：杭基礎
- 魚 道 形 式：右岸 斜路式、斜隔壁式
左岸 斜路式、アイスハーバー式
- 新堰の天端高は現堰と同じ高さです。

ふれあい放水路

通信

「花と緑」 総合フエスティバル 2004開催

四月十七、十八日の両日、出雲ドームで「花と緑」総合フエスティバル2004が開催されました。

フエスティバルは、四絡・高浜両小学校のマーチング隊によるオープニングパレードで華々しく開幕。また、島根県を主会場に中国地方で今年八月に開かれる全国高校総合体育大会を盛り上げようと、開幕一〇〇日前イベントも同時開催され、出雲高校吹奏楽部のマーチングや大社高校佐田分校による太鼓演奏も繰り広げられました。

会場では、切り花や花木、野菜の販売の他、園芸教室や木工体験等のイベントコーナーも設けられ親子連れなどで賑わっていました。

国土交通省のブースでは、斐伊川放水路全景の模型やパネルの展示等を行いました。たくさんの方々にお越し頂き、様々な質問やご意見を伺うことができました。



斐伊川放水路一斉清掃

四月二十八日、斐伊川放水路事業予定地内の一斉清掃が行われました。斐伊川放水路事業の施工業者で構成する斐伊川放水路安全協議会が、工事の際、日頃お世話になっているみなさまへの感謝の気持ちを表すとともに、不法投棄等のない環境整備を目指して始めたもので、今年で三回目になります。

この日は作業員七十人で県道出雲三刀屋線沿線、市道塩冶三六一号沿線の草刈りやゴミ拾い等が行われました。



木の村橋が開通

新宮川の改修に伴い、平成十五年三月より改築工事に着手した木の村橋が完成し、四月五日、現地で開通式を行いました。

式には、国土交通省をはじめ県や市、地元関係者等八十名が出席し、テープカット後、全員で渡り初めをして橋の開通を祝いました。



斐伊川放水路の工事实施状況 (平成16年4月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 下流部用地管理工事	(株) 浜村建設	自 H16年5月15日 至 H16年9月30日
斐伊川放水路管理作業	長浜工業(株)	自 H16年5月15日 至 H16年12月16日
斐伊川放水路 開削部用地管理工事	岩成工業(株)	自 H16年5月19日 至 H16年9月30日
斐伊川放水路 土砂運搬設備運転管理作業	JFEエンジニアリング(株)	自 H16年5月19日 至 H17年3月31日
斐伊川放水路 上流部用地管理工事	(株) 谷本組	自 H16年5月20日 至 H16年9月30日



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官